

114
A 3609

利子利息の論

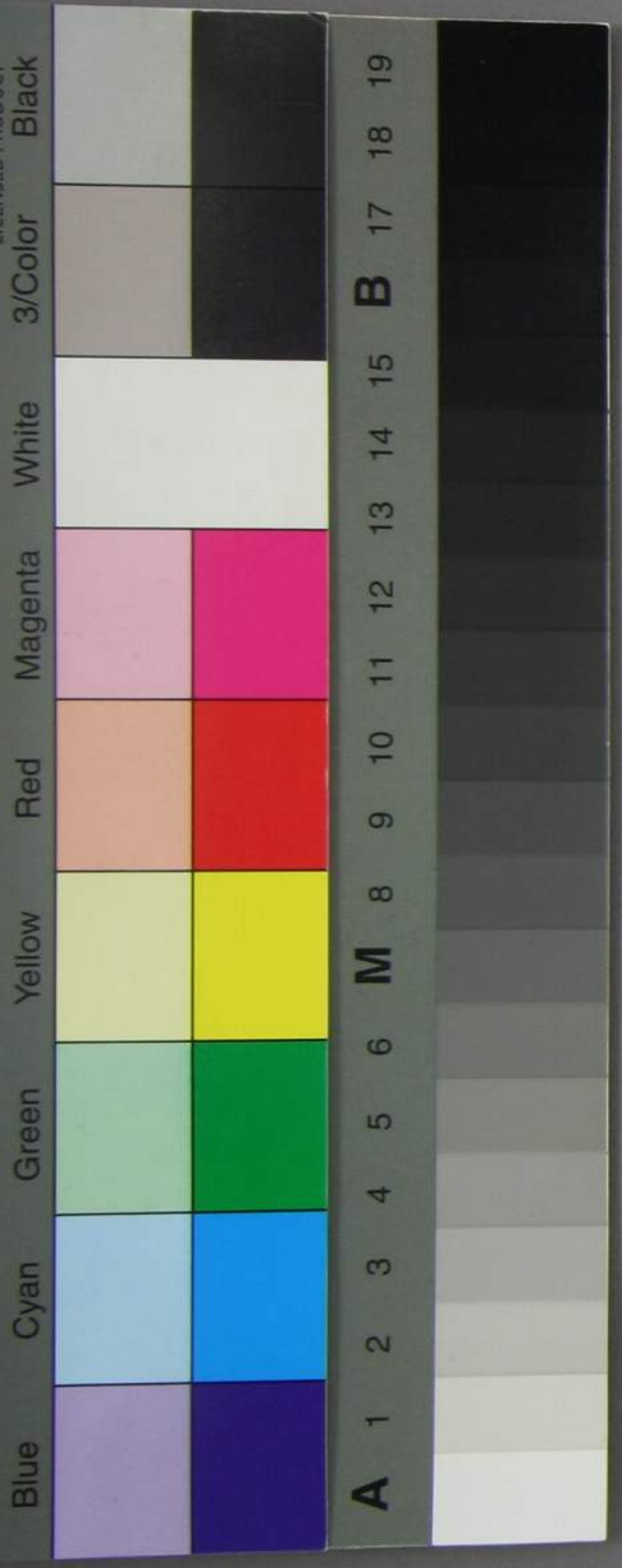
311

大正十一年四月
侯爵 贈



貨幣貸借ノ利息ヲ定ルノ法令ヲ駁議スル中ニ
 就キ其綱領ニ條ヲ撮記シテ其餘蘊ヲ尽サント
 ス其一ハ尋常商估ニ於ル如何ナル商業ヲ為ス
 トモ政府ニテ聊カ関涉スルヲ極シ其者ヲシテ
 務メテ許多ノ利ヲ獲ルヲ自由ナラシムルニ獨
 リ貨幣ヲ貸與スル者ニ至リテハ他ノ商估ニ等
 シク利益ヲ為スト虽ニ却テ政府ヨリ嚴令ヲ立
 テ之レヲ禁シテ自由ニ利益ヲ獲センメサル事
 ナリ又一ハ貨幣貸借ノ價ハ一定シタル者ナリ

司表首



トシテ政府ヨリ利息ノ多寡ヲ定ムルハ士民其
生産ヲ保ツノ權ヲ大ニ妨害スル者ニシテ其割
合ヲ格外高價ニ定ムル時ハ之レヲ借受ル者
ノ害トナリ格外低價ニ定ムル時ハ之レヲ貸與
スル者ノ害トナレリ此ノ二條ノ外更ニ政府ニ
テ利息ヲ定ムルノ事至当ナラサルハ二証有リ
○其一ハ假令政府ニテ利息ノ多寡ヲ定ムル法律
ヲ立ルトモ此レ之ヲ遵守スル者少ク又強テ之レ
ヲ遵守セシメントスルヲ能ハサルヘシ唯徒ラ
ニ無頼ノ徒ニシテ負債ヲ免カレシカ爲メ枉テ

利息ノ法令ヲ違ハシテ好訴ヲ逞ウスル者
爲スノミニシテ其他此法令概シテ廢律ニ歸ス
ベキナリ抑々人々自己ノ所有スル貨幣ヲ貸シ
相当ノ利ヲ獲ントスルハ公同ノ權タルコト
之レヲ禁スル法令ノ如キ人誰カ快シトシル者
アラシ即其快シトセサル法ハ之レヲ遵守スル
者益キテヤ知レベシ然レテ遵守セサルノ由縁
ハ先ツ利息ノ多寡ヲ政府ヨリ六分ト定ムル
トモ此現在貸借ヲ爲ス國中利息ノ時價八分ナ
ル時ハ其法律ニ從ヒ六分ノ利ニテ貸與スル者

絶テ毎カルベシ加之為習坐ニ於テモ其貨幣ヲ
借受スル者ヨリ償還ノ証トシテ其貸セル貨幣
ノ一分ヲ減シ之レヲ貸シ以テ法令ニテ定リタ
ル利息ト其時價ノ利息ト差違シタル額ヲ償ハ
ントスベシ且此法令ハ畢竟國益衆情ニ背及ス
ル者ナレハ人皆竊ニ之レヲ避ントシテ百計ヲ
尽スニ至リ或ハ之レヲ背ク者有リトモ苟モ
我罪ナリトシ自及シテ其心ニ悔悟スル者毎ケ
ン蓋シ是等ノ事不知短クテノ者モ領
既ヤ尊貴ナル言定ニ於テヤ利

九分ナルヲ以テハ實ニ之レヲ一
貸スリト思慮スルノ謬誤ハ區々ニ者
又為替坐ノ如キハ全ク名義ノミハセハニテ貸
トアリトモ利息ノ外或ハ償還ノ証ニ金等
ノ稱ヘラ以テ其償ヲ得ルナレハ初メヨリシテ
九分ノ利息ヲ收ル者ト輕重ノ弁有ルヲ無シテ
ラハ則チ斯ク國中ニ行ハレサル法ヲ布令シテ
衆庶ノ侮弄ヲ招ンヨリハ寧口之レヲ廢止ス
ニ如ス
其二衆人此法律ヲ循守セサルヲ却テ不幸中ノ

幸ニシテ苟モ遵守スルヲ有ラバ其害更ニ測ル
可ラス抑々此法律ヲ立テタル標的ハ只借者ヲ
扶助スルニ在リテ其貨幣ヲ借受スルニ便利ヲ
得テ容易ナラシメントノ舉ナルベシ然レトモ
政府タラン者獨リ借者ノミヲ助ケ貸主ヲ助ケ
カレ如キ偏頗ノ事アルヘカラス又貨幣ヲ借
トスル者平常産業ヲ営ムニ於テハ必
モ之レガ助ケヲ為スヲ無ク唯貨幣ヲ借
ル時ノミ之レヲ助ルヲ異レム可シ又元來
其生産ヲ治

ベキ者ニ對シテ

持ニ貨幣ヲ
助ケテ為ス時ハ却其老ノ文智ヲ輕蔑スル
レ加之貸主若レ政府ニテ立タル利息ノ法律ヲ
確トシテ遵守スルヲアラハ貨幣貸主
不融通ニシテ借者却テ大ナル不便利ヲ生ス可
レ是以テ政府ノ助ケ有ルハ貸主ノ患ニ非
テ借者ノ患ヘナレハ寧ロ其助ケ有ラニヨリ
其助ケ無ラニテ希フ可シ何トナレバ
貨幣ヲ借受セントスル者アリ窮迫ニシテ貸主
償還ノ有無ヲ危疑スト至レ若シ九分ノ利息ナ

ニノミ關涉シ

ル時ハ其人ニ貸セル負債ヲ或ハ償還スル毎キ
モ其利息ノ多キヲ以テ其償ヲ獲ントシ之レニ
貨幣ヲ貸ス₁ヲ肯ス可シ然レニ法律ニ未定レ
七分ノ利息ニテハ窮迫シテ償還ニ疑₁有ル者
ノ如キハ決シテ一元タリトモ之レニ貸サ₁ト
スル者無ケ₁シ又九分ノ利息ニテ自₁口ニ借借ス
ル₁ヲ得ベキ時ハ自₁ラ貸主モ之レヨ₁分ノ
利息ヲ貪₁ラホ₁ルベシ若シ七分以外ノ利ヲ取₁ル
₁法律ニ背ケリトスル時ハ會₁貸ス者有リ
一割又ハ一
重利ヲ貪₁ラス

ベ₁ラス是₁ニ背ケ₁ク₁ヲ知₁レバ₁償₁レメ₁後
覺₁ノ失₁費₁ニ充₁ント₁シ₁レ₁バ₁ナ₁リ且₁又₁利息₁ノ時₁償
九分ナルニ法律ニテ強₁テ七分ト定₁ル時ハ是₁迄
金銀ヲ貸₁シテ産業トセ₁シ者モ以後₁ハ₁ボ₁ス
₁ヲ廢₁シ他₁ノ産業ニ之₁レヲ用₁ヒテ更₁ニ₁利₁ヲ
獲₁ントスル者漸次₁ニ多₁ク₁シテ貸₁サ₁ン₁ト₁ス₁ル者
愈₁ニ少₁ナ₁キニ至₁ルベシ依₁之₁見₁レバ₁貨幣利息ノ
法ハ衆₁人若₁シ之₁レヲ循₁守₁スル₁ヲ有₁ラ₁ル₁時₁ニ
スル者ノ為₁メニ却₁テ害₁ヲ生₁シ又其法ヲ犯₁シテ
貸者アリト₁虽₁比₁等₁ニク₁猶₁借者ノ為₁メニ損害ヲ

ろ
五
ヲ

生不可キヲ以テ其入ヲ助ケルガ為ニ設ケタ
ル法ニシテ如此不適當ナル者ハ未タ之ニア
ラ